
帝塚山学院大学
 TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY


情報と職業 仕事観、キャリア

中野秀男
 情報メディア学科/ICTセンター長

1 情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21


今日の話

- ▶ **もう一度**
 - ▶ この講義の位置づけ
 - ▶ 講義の進め方
 - ▶ 講義のスケジュール
 - ▶ 採点: コメント用紙の内容と出席点で採点します。
- ▶ **前回の質問**
- ▶ **仕事観、キャリア**
- ▶ **業界と職種(1)**

▶ 2

 帝塚山学院大学
 TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

進め方(1)

- ▶ **進め方**
 - ▶ コメントや質問への回答、講義
 - ▶ 講義1: 仕事の種類
 - ▶ 講義2: キャリア
 - ▶ 3人のゲストスピーカー
- ▶ **到達目標**
 - ▶ 仕事に対する理解
 - ▶ キャリアに対する理解
 - ▶ **情報メディアがどれだけ世界を変えていて、これからどう変えるか**
- ▶ **コメント用紙で毎回往復レポート**
 - ▶ コメント用紙は出席確認も兼ねています
 - ▶ 伝えたい事はc-learningを使ってもらってもかまいません
 - ▶ 講義コード: 3124181

▶ 3

 帝塚山学院大学
 TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

進め方(2)

- ▶ 講義用のホームページを作成しています
 - ▶ <http://tezuka-gu-ict.jp/teachers/nakanohideo/>
 - ▶ 配布資料やVODや利用URL
- ▶ 覚えるポイント
 - ▶ 言葉を知る、意味を知る、理解する
 - ▶ キャリア、仕事観
 - ▶ なぜ働くのか？
 - ▶ [情報メディアの仕事やキャリアへの使い方](#)
 - ▶ いろいろな職業
 - ▶ 業界
 - ▶ 職種

質問(1)

- ▶ 65歳が定年なのに60歳が定年退職、55歳でも
- ▶ 学科に関係ないところに就職していく
- ▶ μ チップでレジをスルーして勘定
- ▶ 自宅で仕事。情報漏えいがありそう。
- ▶ 移動時間を考えると在宅勤務は増えるべき
- ▶ 自宅で仕事なら病気になっても家で仕事を
- ▶ 主なテレワークはどんなものが
- ▶ ブラックでない良い会社か、伸びる会社か
- ▶ ブラック企業の判定
- ▶ SPIのアプリ
- ▶ ハウステンボスの変なホテル。やっぱり人の対応の方が
- ▶ 一番、お勧めの職業は

質問(2)

- ▶ 将来なくなる職業に今、ついている人はどうなる
- ▶ 専門業が増えていく
- ▶ ネイリストがなくなるのは驚き
- ▶ 音楽関係で消える職業は
- ▶ 働くのは生きるためのお金を稼ぐ以外にいろいろある
- ▶ ゲームに携わる職業。デザイン、音楽、プログラムとどれが比較的に就職しやすいか？
- ▶ 人工知能やロボットが失敗した場合の責任は？
- ▶ 30代、40代の人にはどのように学ぶのか
- ▶ (パソコン教室)教える立場の人には何か免許が必要か。
- ▶ 技術が進むにつれて必要になる場所が減る。
- ▶ MOSはExcelも必要か

質問(3)

- ▶ 機械を作る機械ができると消費者のみの世界になるか
- ▶ 機械が仕事をすると少子化が問題にならなくなるか
- ▶ ロボホンの使いやすさ、実用性
- ▶ ロボホンはPepperの小さなバージョン
- ▶ ロボホンが可愛い
- ▶ iPhone7はどうか
- ▶ 中野が購入した一番高いのは
- ▶ 民泊のCM

▶ 7

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21



情報と職業(オーム社)

- ▶ 1.情報社会と情報システム
- ▶ 2.情報化によるビジネス環境の変化
- ▶ 3.企業における情報活用
- ▶ 4.インターネットビジネス
- ▶ 5.働く環境と労働観の変化
- ▶ 6.情報社会における犯罪と法整備
- ▶ 7.情報社会におけるリスクマネジメント
- ▶ 8.明日の情報社会

▶ 8

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21



働く環境と労働観の変化(1)

- ▶ 働く環境の変化
 - ▶ 企業のアイデンティティ
 - ▶ 個人のアイデンティティ
 - ▶ 専門性の向上と資格取得
 - ▶ 各業務のスペシャリスト(専門職) vs ジェネラリスト(一般職)
 - ▶ 人事制度の変化
 - ▶ ビジネスのグローバル化
 - ▶ vs 地域に特化したローカリゼーション
 - ▶ ビジネスのスピード化

▶ 9

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21



働く環境と労働観の変化(2)

▶ 職場環境の変化

- ▶ 在宅勤務
- ▶ SOHO: Small Office/Home Office、サテライトオフィス
- ▶ モバイルオフィス
- ▶ コワーキング、コワーキングスペース
- ▶ 自分の机のない職場
- ▶ ラーニングコモンズ

▶ 仕事内容の変化

- ▶ 販売員の存在意義
- ▶ 中間管理職の存在意義:運用部門/会社と開発企画部門/会社
- ▶ 電子メールやグループウェアによる社内コミュニケーション

▶ 10

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21



働く環境と労働観の変化(3)

▶ 職場での情報リテラシー

- ▶ パソコンでの文書管理能 → デザインや映像にも
- ▶ パソコンのシステム管理 → クラウド利用とPC、タブレット、スマホに

▶ 情報化による業務内容の変化

- ▶ 鉄道の改札業務
- ▶ 銀行の窓口業務
- ▶ 旅行代理店

▶ 企業の情報化と求められる人材の変化

- ▶ 情報システムに対する基礎的な知識を将来を読む力
- ▶ 企画提案力
- ▶ プロジェクトを管理する力
- ▶ 業務改善のための高い視点

▶ 11

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21



キャリアの探索と形成(1)

▶ キャリアを考える

▶ 1.自己探求

- ▶ 自己理解、発達過程、能力開発

▶ 2.環境の検討

- ▶ 仕事理解、組織理解

▶ 3.調和・意志決定

- ▶ 目標設定、組織適応

▶ 4.行動

- ▶ 機会開発、関係形成、変化対応


▶ 12

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21




キャリアの探索と形成(2)

- ▶ ライフステージ論(ドナルド・スーパー(1910-1994))
 - ▶ 成長期
 - ▶ 探索期:14歳から25歳
 - ▶ 確立期:25歳から45歳
 - ▶ 維持期
 - ▶ 下降期(解放期)
- ▶ キャリアの定義(辞書)
 - ▶ (一生の)経歴、生涯、履歴
 - ▶ 生活手段:(生涯の、または専門的な)職業
 - ▶ (職業での)成功、出世
 - ▶ 進路、経路

▶ 13 情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY


キャリアの探索と形成(3)

- ▶ キャリア定義の4分類(Hall, 1976)
 - ▶ 昇進・昇格の累積としてのキャリア(地位・出世)
 - ▶ 組織のなかで
 - ▶ 専門職業としてのキャリア(専門職業)
 - ▶ 法律家、医師、学者、牧師
 - ▶ 生涯を通した一連の仕事としてのキャリア(職業経験)
 - ▶ 職業経験を通してのキャリア
 - ▶ 生涯を通じた様々な役割経験としてのキャリア(役割経験)

▶ 14 情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

業界と職種

- ▶ 業界
 - ▶ 製造:素材、電機・機械、生活関連用品
 - ▶ IT・通信・インターネット、エネルギー、交通・運輸
 - ▶ 建設・不動産・住宅
 - ▶ 金融、流通・小売
 - ▶ サービス・レジャー・アミューズメント
 - ▶ マスコミ、商社・教育・人材・コンサルティング

▶ 15 情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

業界と職種

▶ 職種

- ▶ 営業
- ▶ 事務・スタッフ関連職
- ▶ 企画・マーケティング
- ▶ 技術関連職:メーカー系
- ▶ 技術関連職:IT・通信・インターネット系
- ▶ 金融スペシャリスト
- ▶ 流通・サービス関連職
- ▶ 制作関連職

▶ 16

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21



コメント用紙

- ▶ 15回分とまとめて16枚に数行書いて講義の最後に提出
- ▶ 講義の最初に返します
- ▶ 書いて欲しいこと
 - ▶ わかったこと
 - ▶ わからなかった言葉
 - ▶ 興味があったこと(講義中の話以外でもいいです)
 - ▶ 聞きたいこと
 - ▶ 質問の答で更に聞きたいこと
- ▶ c-learningで答えてもらっても構いません
- ▶ コメント用紙は出席の替わりなので必ず提出

▶ 17

情報と職業 労働観、キャリア 2016/10/21